

# 紅白の新種エビ発見

読んで  
広がる  
NIE

【北部】沖繩  
美ら海水族館は  
17日までに、  
見慣れないコシ

美ら海  
水族館

7月に恩納村沖約1キロで、  
職員が無人潜水艇で展示用  
生物を採集中、水深188  
メートルの海底から見つけた。

オリエビが見つかり、それが  
新種と判明したと発表した。  
発見した職員と専門家が共同  
研究し、白色に赤いまだら  
模様の美しい体にちなみ、  
和名を「チュラコシオリエ  
ビ」と名付けた。

チュラコシオリエビは、は  
さみのある脚の先端から腹の  
縁まで約15ミリと小さい。昨年



深海で採集され、新種と判明した「チュラコシオリエビ」。体長15ミリと小さい(沖縄美ら海水族館提供)

## その名も チュラコシオリエビ

発見した職員の東地拓生  
さんと専門家が調べ、新種と  
分かり、動物分類学の学術  
誌に掲載した。

コシオリエビは「エビ」と  
の名が付いているが、ヤドカ  
リに近い仲間。琉球列島  
周辺では、これまで、コシオ  
リエビが19種確認されてい  
て、チュラコシオリエビは20  
種目となった。

東地さんは「コシオリエ  
ビは褐色が多く、こんなきれ  
いな色は珍しい。沖縄周辺  
の深海はまだまだ調べきれて  
いない。今後も新種が見つかる  
可能性がある」と話した。